

VMware vSphere

ハイブリッドクラウド向けの効率的でセキュアなプラットフォーム

概要

VMware vSphere® は、業界をリードする仮想化およびクラウドプラットフォームです。ハイブリッドクラウド向けの効率的でセキュアなプラットフォームとして、大規模環境のシンプルで効率的な管理、組み込みの包括的なセキュリティ、ユニバーサルアプリケーションプラットフォーム、シームレスなハイブリッドクラウド環境を提供することで、デジタルトランスフォーメーションを推進します。その結果、アプリケーションのパフォーマンスが向上し、あらゆるクラウドの基盤となるスケラブルでセキュアなインフラストラクチャが実現します。

主なメリット

- ユニバーサルアプリケーションプラットフォーム
- アプリケーションのパフォーマンスの向上
- シームレスなハイブリッドクラウド環境
- 大規模環境の効率的な管理
- 組み込みの包括的なセキュリティ
- IT インフラストラクチャの管理コストを 53 % 削減
- 最重要アプリケーションのダウンタイムを 54 % 短縮
- 1 年間で投資回収率 (ROI) を 2.4 倍向上
- IT の End-to-End のセキュリティアーキテクチャにより、視認性、可用性、キャパシティ使用率、ユーザーの満足度を 30 % 向上

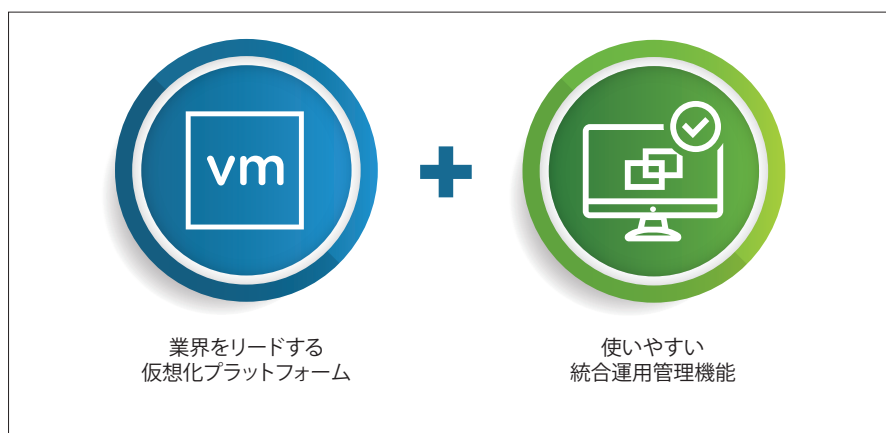
vSphere について

業界をリードする仮想化およびクラウドプラットフォームである VMware vSphere は、ハイブリッドクラウド向けの効率的でセキュアなプラットフォームです。強力で柔軟性に優れたセキュアな基盤としてビジネスの俊敏性を実現し、ハイブリッドクラウドへのデジタルトランスフォーメーションを加速させ、デジタルエコノミーにおける成功をもたらします。また、既存のワークロードと次世代のワークロードの両方に対応しており、シンプルで効率的な大規模環境管理、コアから守る組み込みの包括的なセキュリティ、ユニバーサルアプリケーションプラットフォーム、シームレスなハイブリッドクラウド環境を提供します。そのため、ハイブリッドクラウド全体にわたって共通の運用環境でアプリケーションを実行、管理、接続、保護することが可能です。

VMware vSphere with Operations Management™ は、環境のより詳細な情報と優れた IT サービスを提供することで、多様なビジネスニーズを満たすように設計されています。高い可用性、包括的かつ一元的な視認性により、アプリケーションからストレージまでをインテリジェントに運用することで、パフォーマンスを高め、システムの中断を回避します。また、ワークロードの配置とリソースの最適化を条件に応じてセキュアに自動化することで、ビジネス上の重要タスクにより多くの時間を費やすことができるほか、事前に設定されたカスタマイズ可能なテンプレートを使用して制御を強化することも可能です。

バージョン 6.7 の新機能

- **拡張性の強化**: 構成の上限值が拡張され、非常に大規模なアプリケーション環境にも対応
- **VMware vCenter Server® Appliance Linked Mode**: 組み込みの Platform Services Controller で vCenter Server Appliance のリンクドモードに対応し、ロードバランサーを必要とせずに複数の vCenter をリンク



インテリジェントな運用機能を備え、非常に信頼性の高い業界をリードする仮想化プラットフォームです。

- **VMware vCenter Server® Appliance Back Up Scheduler**: vCenter Server Appliance のバックアップのスケジュールを設定。バックアップとリストア用の完全な REST API を実装
- **Single Reboot**: ホストのリセットを省略することで、スピーディーなアップグレードを実現
- **Quick Boot**: 物理ホストを再起動せずに ESXi ハイパーバイザーを再起動し、時間のかかるハードウェアの初期化を省略することで、パッチ適用とアップグレードの時間を削減
- **4K ネイティブのストレージのサポート**: 大容量ドライブに対応することで広範囲にわたりパフォーマンスを向上
- **HTML 5 ベースの vSphere Client**: VMware NSX®, VMware vSAN™、VMware vSphere Update Manager (VUM)、サードパーティ コンポーネントなど、接続するコンポーネントを簡単に管理できる機能を追加
- **セキュリティの大規模な適用**: シンプルな操作でインフラストラクチャを保護する、ポリシーベースのセキュリティを適用
- **Trusted Platform Module (TPM) 2.0 と仮想 TPM のサポート**: セキュリティを強化し、不正アクセスからハイパーバイザーとゲスト OS を保護
- **暗号化された Cross-vCenter vMotion**: VMware vCenter® の異なるインスタンス間やバージョン間の vMotion を暗号化
- **Microsoft の仮想化ベースのセキュリティ (VBS) のサポート**: Windows 仮想マシンを vSphere 上で効率よく、セキュアに実行
- **NVIDIA GRID vGPU の運用強化**: ホストのライフサイクル管理と、エンド ユーザーの作業効率向上に向けて、vGPU のサスペンド機能およびレジューム機能をサポート
- **vSphere パーシステント メモリ**: パーシステント メモリをサポートすることでブロック ストレージやメモリとして機能させ、新しいアプリケーションと既存のアプリケーションのパフォーマンスを向上
- **Hybrid Linked Mode**: vSphere の単一バージョンで実行されるオンプレミスの環境や、VMware Cloud™ on AWS などのさまざまな vSphere のバージョンで実行されるパブリッククラウド環境を包括的に可視化して管理
- **仮想マシン単位での Enhanced vMotion Compatibility (EVC)**: EVC がプロセッサの世代でなく、仮想マシンの属性となったことで、オンプレミスとクラウドの間でシームレスにワークロードを移行可能
- **vCenter 間でバージョンが混在する場合のプロビジョニング**: 複数バージョンの vCenter が混在するハイブリッド クラウド環境のプロビジョニングを簡略化

エディション	vSphere Standard	vSphere Enterprise Plus	vSphere with Operations Management Enterprise Plus
ユースケース	データセンター ハードウェアを統合し、サーバ仮想化、仮想マシン対応ストレージ、ライブマイグレーションの各機能を通じて、ビジネス継続性を実現します。クラスタの境界を超えてデータセンターのリソースを共有し、エンドポイントの保護を強化して仮想環境のセキュリティを向上させます。	vSphere を使用してアプリケーションのパフォーマンスと可用性を向上させることで、ビジネスの生産性を高めることができます。リソース管理を制御できるほか、ワークロードのロードバランシングを行い、リソースへのアクセスに優先順位を設定することで、重要度の高いアプリケーションのパフォーマンスを最大化できます。また、仮想環境でのワークロードの迅速なプロビジョニングおよび展開や、稼動中の仮想マシン全体を別の物理サーバにダウンタイムなしで移行することができます。	vSphere with Operations Management を使用することで、データセンターのインテリジェントな運用管理と自動化が可能です。健全性とパフォーマンスの監視および管理、キャパシティの計画と最適化、アプリケーションのパフォーマンス向上のためのワークロードのインテリジェントな配置と再調整、予測分析によるスマート アラートの生成、セキュリティの強化によるコンプライアンス確保が可能です。
製品コンポーネント			
ライセンス権限	1 CPU 単位	1 CPU 単位	1 CPU 単位
vSphere のエディション	Standard	Enterprise Plus	Enterprise Plus
vRealize™ Operations™ のエディション	-	-	Standard
製品の機能			
サーバ仮想化	○	○	○
仮想マシン対応のストレージ	○	○	○
API およびポリシーベースのストレージ機能	○	○	○
4K ネイティブストレージのサポート	○	○	○
Single Reboot	○	○	○
Quick Boot	○	○	○
ワークロードのライブマイグレーション	仮想スイッチ間	vCenter Server 間/ 長距離間/クラウド間	vCenter Server 間/ 長距離間/クラウド間
仮想マシンとデータの保護	○	○	○
TPM 2.0 のサポート	○	○	○
仮想 TPM	○	○	○
FIPS 140-2 に準拠	○	○	○
MSFT VBS のサポート	○	○	○

詳細情報

VMware 製品のご購入または詳細情報については、Web サイト (<http://www.vmware.com/jp>) をご覧ください。製品の仕様およびシステム要件の詳細については、vSphere のドキュメント (<http://www.vmware.com/jp/products/vsphere/>) を参照してください。

エディション	vSphere Standard	vSphere Enterprise Plus	vSphere with Operations Management Enterprise Plus
製品の機能			
システムの連続稼働の維持	○	○	○
データセンターのリソースの共有	○	○	○
エンドポイントセキュリティ	○	○	○
Fault Tolerance	仮想 CPU 2 個分	仮想 CPU 4 個分	仮想 CPU 4 個分
vCenter Hybrid Linked Mode	○	○	○
仮想マシン単位での Enhanced vMotion Compatibility	○	○	○
Instant Clone	○	○	○
Proactive HA		○	○
仮想マシンレベルでの暗号化		○	○
vSphere Integrated Containers		○	○
ネットワークの統合管理		○	○
ロードバランシング		○	○
仮想マシンへのリソース割り当ての優先順位付け		○	○
迅速な展開とプロビジョニング		○	○
仮想マシン向けグラフィック機能強化		○	○
vSphere パーシステント メモリ		○	○
健全性監視とパフォーマンス管理			○
キャパシティの最適化			○
インテリジェントなワークロードの配置と再調整			○
自己学習型の予測分析			○
セキュリティの強化によるコンプライアンス確保			○

